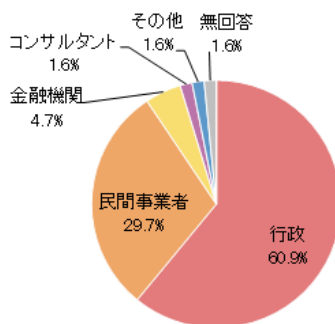


令和7年8月1日開催PFS/SIB実務者セミナー 事後アンケート結果概要

アンケート実施概要

- ◆ 回答件数：64件
- ◆ 回答者所属種別
 - 地方公共団体：60.9%
 - 民間事業者：29.7%
 - 金融機関：4.7%
 - コンサルタント：1.6%
 - その他：1.6%
 - 無回答：1.6%



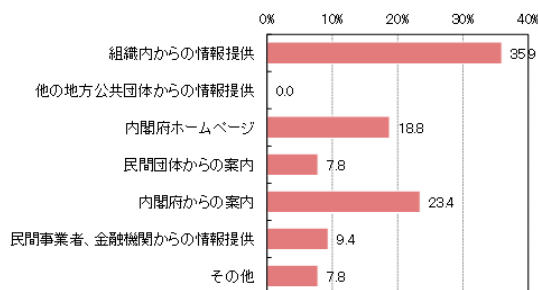
◆ 主なアンケート設問

- Q1：セミナー開催を知った経緯
- Q2：参加の動機
- Q3：PFS/SIBの取組状況
- Q4：関心のある事業分野
- Q5：関心がある職員の所属等
- Q6：意識の変化
- Q7：取り上げてほしいテーマ・内容
- Q8：活用したいと思う制度

アンケート結果

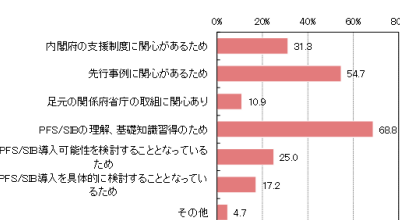
Q1.セミナー開催を知った経緯 (n=64) ※複数回答可

「組織内からの情報提供」が最も多く、次いで「内閣府からの案内」が多い。



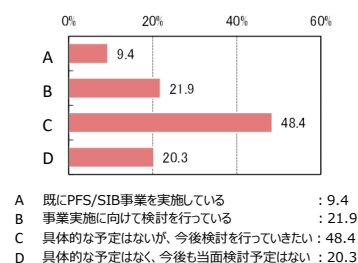
Q2.参加の動機 (n=64) ※複数回答可

参加者の多くが「PFS/SIBの理解・基礎知識の習得」や「先行事例への関心」を目的としており、現在は理解を深める段階にあると考えられる。



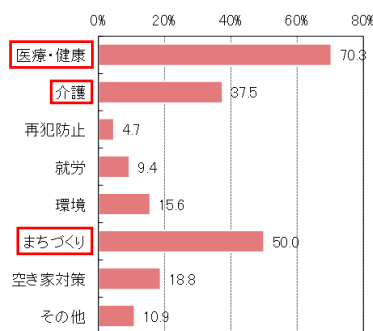
Q3.PFS/SIBの取組状況 (n=64)

具体的な予定がない回答者も見られるものの、約8割がPFS/SIBの検討・実施経験を有している。



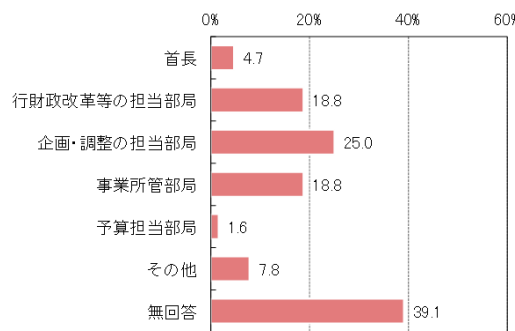
Q4.関心のある事業分野 (n=64) ※複数回答可

重点分野である「医療・健康」「介護」の関心が高い一方、「まちづくり」にも関心が高い傾向。



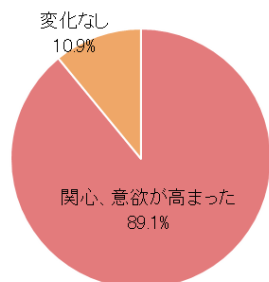
Q5.関心がある職員の所属等 (n=64) ※複数回答可

企画・調整、行財政、事業所管といった各部署が関心を寄せる一方で、首長自らが関心を示す自治体も一部に見られる。



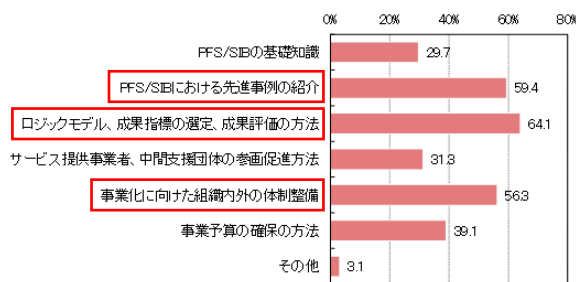
Q6.意識の変化 (n=64)

9割近い参加者がPFS/SIBに対する関心、意欲の変化が生まれている。



Q7.取り上げてほしいテーマ・内容 (n=64) ※複数回答可

「ロジックモデルや成果指標の選定、成果評価の方法」が多く、次いで「PFS/SIBにおける先進事例の紹介」、「事業化に向けた組織内外の体制整備」が多い。



Q8.活用したいと思う制度 (n=64) ※複数回答可

交付金、案件形成支援への関心が高い。

